

素材生産動向（概要） - 令和8年1月見通し -

令和8年1月19日
北海道森林管理局
(担当：資源活用第一課)

調査対象事業体数

	事業体数 (A)	調査対象数 (B)	回答数 (C)	回答率 (C)/(B)	該当する（総合）振興局
全道	579	196	128	65%	
札幌地区	122	45	34	76%	石狩、空知、胆振、日高
旭川地区	126	50	29	58%	上川、留萌、宗谷
北見地区	80	32	23	72%	オホーツク
帯広地区	160	34	14	41%	十勝、釧路、根室
函館地区	91	35	28	80%	渡島、檜山、後志

(注) 事業体数(A)は、北海道林業事業体登録制度に基づき登録された林業事業体のうち、素材生産事業を実施している者。
調査対象数(B)は、アンケート調査の結果により実質的に素材生産事業を行っていない者を除いた数。

【1月の素材生産動向（概要）に対するコメント】

- 「1.素材生産量」では、12月実績の141.7千m³と比べ、1月見通しは15.9千m³増の157.6千m³となっています。
前月実績と比較すると、札幌地区、旭川地区、北見地区で増える見通しとなっています。
- 「2.素材生産量の増減」の比率では「増える」が36%、「変わらない」が35%、「減る」が29%となっています。
- 「3.素材生産動向」の全般的な動きでは、「順調」が14%、「並み」が71%、「不調」が15%で、DIはプラスの値を示しています。
樹材種別に見ると一般材は「並み」の見通しで、原料材は「並み」～「やや順調」の見通しとなっています。
- 「4.素材生産動向の事由」は「通常の変動」以外では、減の事由としては、特に「天候不順」、次に「労働力不足」「運材車不足」が多くなっています。

1. 素材生産量

(単位：千m³)

区 分	全道			札幌地区			旭川地区			北見地区			帯広地区			函館地区		
	前月	当月	差	前月	当月	差	前月	当月	差	前月	当月	差	前月	当月	差	前月	当月	差
素材生産量	[161.3]	157.6	15.9	[41.1]	42.8	11.6	[28.6]	25.8	1.7	[37.7]	40.6	5.9	[33.4]	26.7	-2.8	[20.5]	21.7	-0.5
	141.7			31.2			24.1			34.7			29.5			22.2		

(注) 前月数量の、上段【 】書きは前月見通し、下段は調査回答のあった事業体の実績を記載。

2. 素材生産量の増減

(単位：%)

区 分	全道			札幌地区			旭川地区			北見地区			帯広地区			函館地区		
	前月	当月	差	前月	当月	差	前月	当月	差	前月	当月	差	前月	当月	差	前月	当月	差
増える	33	36	3	22	35	13	39	34	-5	59	52	-7	36	28	-8	18	29	11
変わらない	39	35	-4	44	35	-9	32	42	10	23	31	8	36	36	0	57	32	-25
減 る	28	29	1	34	30	-4	29	24	-5	18	17	-1	28	36	8	25	39	14

(1) 全般

区 分	全道			札幌地区			旭川地区			北見地区			帯広地区			函館地区		
	前月	当月	差	前月	当月	差	前月	当月	差	前月	当月	差	前月	当月	差	前月	当月	差
極めて順調	1	2	1	4	7	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
やや順調	13	12	-1	11	17	6	8	0	-8	24	15	-9	21	21	0	5	9	4
並み	68	71	3	74	66	-8	73	86	13	61	70	9	57	72	15	69	65	-4
やや不調	16	15	-1	11	10	-1	19	14	-5	10	15	5	14	7	-7	26	26	0
極めて不調	2	0	-2	0	0	0	0	0	0	5	0	-5	7	0	-7	0	0	0

(単位：回答数)

(単位：回答数)

[illegible]

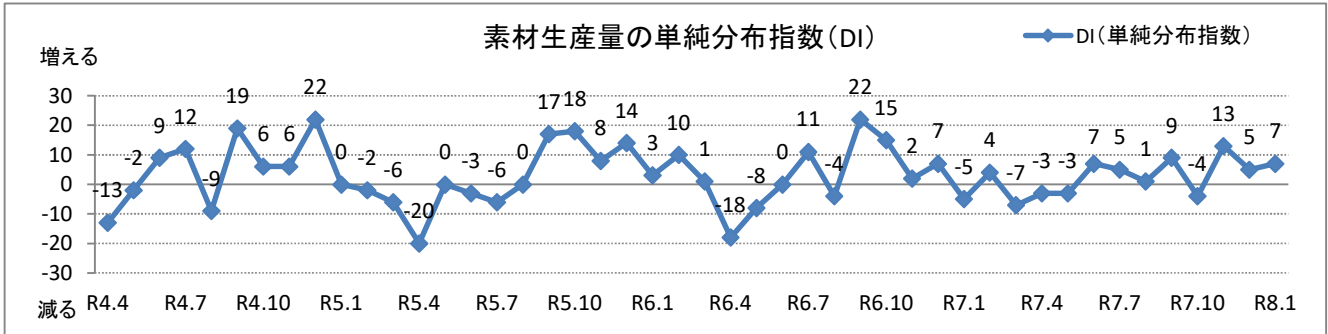
4. 素材生産動向の事由

(単位：回答数)

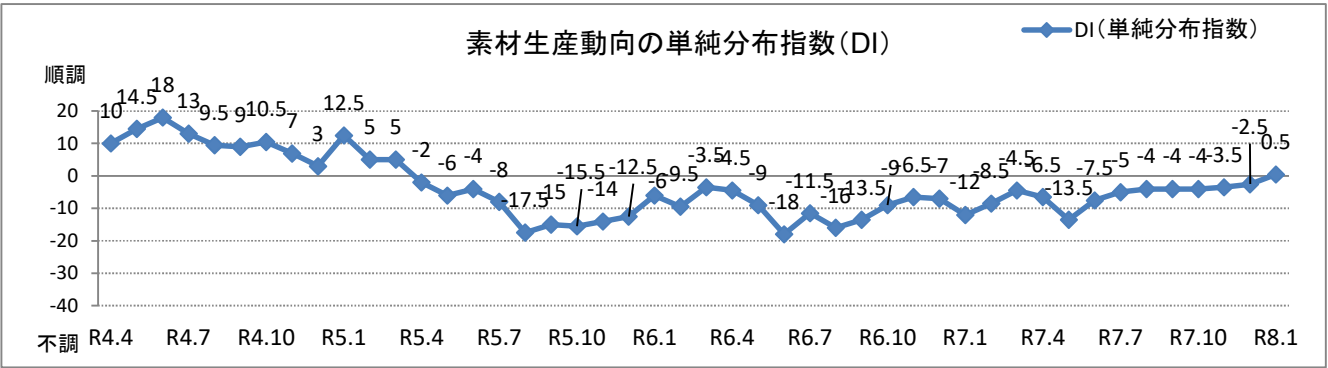
	丸太注文の増加	時間外など稼働率向上	体制充実	生産性の向上	通常の変動	その他		
数量の増	2	0	2	3	49	0		
	丸太注文の減少	事業地不足	労働力不足	運材車不足	機械の故障等不測の事態	天候不順	通常の変動	その他
数量の減	5	4	8	7	2	12	27	0

(注) 該当するものについて複数回答

(参考)



※「素材生産量の単純分布指数(DI)」とは
アンケート調査の回答においてプラス(増える)見通しとマイナス(減る)見通しの事業体のバランスの変化を捉えるためのものです。



※「素材生産動向の単純分布指数(DI)」とは
アンケート調査の回答においてプラス(極めて順調、やや順調)の選択肢とマイナス(やや不調、極めて不調)の選択肢を選んだ事業体のバランスの変化を捉えるためのものです。

令和8年1月

区分	有効回答数	構成百分率
増える	46	36%
変わらない	45	35%
減る	37	29%
合計	128	100%

素材生産量の単純分布指数(DI)
= 36% - 29%

有効回答数とは、前月との比較が可能な事業体数

令和8年1月

区分	有効回答数	構成百分率
極めて順調	2	2%
やや順調	13	12%
並み	76	71%
やや不調	16	15%
極めて不調	0	0%
合計	107	100%

素材生産動向の単純分布指数(DI)
= 2% + $\frac{12\%}{2}$ - ($\frac{15\%}{2}$ + 0%)

有効回答数とは、前月との比較が可能な事業体数

【国有林からのお知らせ】

【令和7年12月期販売結果及び令和8年1月期販売について】

○令和7年度（立木の部）

（単位：m³ 円/m³）

地区別	署 別	12月期立木販売(公売)結果						1月期立木販売(公売)		
		【主伐】			【間伐】			主 伐 間伐別	数量	入札日
		公売数量	落札数量	単価	公売数量	落札数量	単価			
札幌	石狩									
	空知									
	胆振東部	8,230	8,230	1,600						
	日高北部									
	日高南部									
旭川	北空知									
	留萌北部									
	留萌南部									
	上川北部									
	宗谷									
	上川中部									
	上川南部	629	0							
北見	網走西部									
	西紋別									
	網走中部									
	網走南部									
帯広	根釧西部	3,451	3,020	3,081	5,189	5,189	2,846	主	433	1/29
	根釧東部									
	十勝東部									
	十勝西部									
	東大雪									
函館	後志									
	檜山	1,506	0		17,487	0		主	919	1/27
	渡島							主	301	1/29
計		13,816	11,251		22,676	5,189			1,653	

○令和7年度（素材の部）

（単位：m³）

地区別	署 別	12月期(委託)		1月期 入札 予定
		素材委託 販売結果	入札日	
札幌	石狩	2,083	16日 (火)	22日 (木)
	空知	1,842		
	胆振東部	1,081		
	日高北部	2,404		
	日高南部			
旭川	北空知		15日 (月)	20日 (火)
	留萌北部			
	留萌南部	83		
	上川北部	349		
	宗谷	1,932		
	上川中部	1,747		
	上川南部	709		
北見	網走西部	3,231	17日 (水)	21日 (水)
	西紋別	1,341		
	網走中部	2,206		
	網走南部	2,744		
帯広	根釧西部	2,221	22日 (月)	19日 (月)
	根釧東部	6,196		
	十勝東部	3,782		
	十勝西部	29		
	東大雪	1,165		
函館	後志	2,062	16日 (火)	22日 (木)
	檜山	3,771		
	渡島	529		
計		41,508		

※上記詳細については、北海道森林管理局ホームページ「国有林野産物の公売公告及び結果（立木の部・素材の部）」をご覧ください。

（立木の部）アドレス：https://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/apply/publicsale/koubai/wood_ryuuboku/index2025.html

（素材の部）アドレス：https://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/apply/publicsale/koubai/wood_soza/2025.html

※森林管理署等が執行する林産物の売払契約の一般競争入札に参加するためには、資格を得ていただく必要があります。

北海道森林管理局ホームページ、「競争参加有資格者（林産物の売払）に係る諸手続」をご覧ください。

アドレス：<https://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/hanbai1/apply/publicsale/koubai/sankasikaku/index.html>